

## 大分県拠点だより #

令和7年9月発行  
【NO.40】

「#（ハッシュタグ）」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。

## # 令和8年度農林水産関係予算概算要求額は、2兆6,588億円

## ～米の需要に応じた増産実現予算～

農林水産省は8月31日、総額2兆6,588億円（対7年度当初予算比117%）の令和8年度農林水産関係予算概算要求を財務省に提出しました。

新たな食料・農業・農村基本計画や現在の米をめぐる情勢を踏まえ、農業構造転換集中対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、農業の持続的な発展、農村の振興、環境と調和のとれた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の持続可能な成長を実現するための予算を要求しています。

## 概算要求重点事項

- 生産者自らの判断による需要に応じた生産  
～需給のひっ迫への的確な対応～
- 1 食料安全保障の強化
- 2 農業の持続的な発展
- 3 農村の振興
- 4 環境と調和のとれた食料システムの確立
- 5 多面的機能の発揮
- 6 2050年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」の実現に向けた森林資源循環利用施策の総合的な展開
- 7 海洋環境の激変に適應するための水産業の強靱化

令和8年度農林水産予算概算要求の概要（農水省HP）



大分県拠点では、新規事業や既存事業の拡充部分を中心に農林水産省の考え方のご説明に伺っています。

## # オフィシャルインフルエンサーの取組をご紹介します！

（大分県拠点HP）



## # 第13回農政懇話会を開催しました

報道機関各社への情報提供と情報交換の場として「第13回農政懇話会」を開催しました。

今回は、報道機関各社に、より現場目線で農政に対する理解醸成に繋げていただくことを目的に、県内の先進的かつ優良な取組を行っている農業法人である、Farm Sam（日出町）CEO 高松修氏（写真中央）から、「大分から全国へ広がる～誰もが働ける未来を耕す「農福連携モデル」」と題して事例発表を行っていただきました。

その後、高松氏を交え意見交換を行い、今年の米の生育状況、高温・渇水等の異常気象による農作物への影響やその対策等の話題を中心に活発な意見が交わされました。



## # 公表されました

### — 令和7年産水稻の10a当たり収量の前年比見込み（8月15日現在） —

令和7年産水稻の10a当たり収量の前年比見込みは、「上回る」又は「やや上回る」が13府県、「前年並み」が29都道府県、「やや下回る」が4県となっており、大分県は「前年並み」の見込みです。  
本年の状況は、7月以降の高温、渇水の影響による枯れ上がり等が一部地域で見られるものの、田植期（5月）以降、総じて多照で推移しており、8月15日現在における生産はおおむね良好な見込みです。



統計情報（農水省HP）



### — 見たい！知りたい！九州農業2025 —

九州各県における食料・農業・農村の現状、主要施策への取組状況や課題・最近の取組事例について作成・公表しています。各地域農業の様々な取組の参考にご利用ください。

見たい！知りたい！九州農業（九州農政局HP）



## # あなたのサステナブルな取組を国内外に発信しませんか？

### — サステナアワード2025 募集中です！ —

「あふの環（わ）2030プロジェクト」では、食や農林水産業に関わるサステナブルな消費、環境との調和、脱炭素、生物多様性、資源循環など、サステナブルな生産やサービス・商品を扱う地域・生産者・事業者の取組に関する動画作品を募集しています。

優秀な作品を表彰し、あふの環プロジェクトホームページや省公式YouTubeチャンネル（maffchannel）で紹介するとともに、農林水産省、消費者庁、環境省の様々なイベント等で発信します。

締切：令和7年10月31日（金）

サステナアワード2025（農水省HP）



\*「あふの環2030プロジェクト～食と農林水産業のサステナビリティを考える～」  
国連の持続可能な開発目標(SDGs)の2030年までの達成を目指し、持続可能な生産消費を広めるための活動を推進するプロジェクトです（農林水産省、消費者庁、環境省連携）。

## # 農業者等との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

### ～ 一番大切なのは「人」です ～

有限会社 植木農園（大分市）  
令和7年7月18日



その他の意見交換  
（大分県拠点HP）



大分市で、大葉やかいわれ大根などを生産している（有）植木農園と意見交換を行いました。

大分の大葉は、香りが強く日持ちが良いのが特徴です。こちらでは1日に20万～40万枚を収穫していますが、ハサミで切り取って収穫すると切り口が黒くなり鮮度が落ちるため、手で1枚1枚茎を持って素早く摘み取っているそうです。さらに、規格に沿った同じサイズを10枚摘み取って輪ゴムをかけて束にしていくとのことで、摘み取りにはスピードと技術が必要となります。そのため、植木常務は「一番大切なのは「人」ですね。」と話してくれました。



## # 大分県拠点へお気軽にご相談ください！

九州農政局大分県拠点  
地方参事官室

〒870-0047 大分市中島西1-2-28  
TEL 097-532-6131(代表) FAX 097-532-6281  
URL <https://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/index.html>

